

令和5年度第3回東郷町男女共同参画審議会 議事要旨	
開催日時	令和5年9月19日（火）午後2時から午後4時まで
場所	東郷町役場 3階 政策審議会室
出席委員	中林、高橋、中村、柳川、熊崎、半田、山本、婦木、西俣、中川、谷 (敬称略)
事務局	企画政策部長、企画情報課長、課長補佐、主任、主事
傍聴者	なし

議事及び内容

次第

- 1 会長あいさつ
- 2 議題
 - (1) 東郷町男女共同参画推進事業「映画会」について
 - (2) 文化産業まつり「男女共同参画推進コーナー」の設置について
 - (3) 東郷町男女共同参画情報誌「イーストピア」第13号の発行について
 - (4) その他
- 3 その他

会議記録

別添のとおり。

(事務局)

ただ今より令和5年度第3回東郷町男女共同参画審議会を開催します。本日の進行役を務めます、企画情報課長の磯村です。よろしくお願いします。

それでは、次第1 会長あいさつです。中林会長、よろしくお願いします。

中林会長あいさつ

(事務局)

ありがとうございました。

ここからの進行は会長にお願いします。中林会長、よろしくお願いいたします。

(会長)

それでは、次第2 議題に入ります。

最初に、議題(1)「東郷町男女共同参画推進事業『映画会』について」事務局から説明をお願いします。

事務局説明

(委員)

入場整理券のもぎりは、来場者本人に行ってもらうのか、それとも私たちでもぎるのかどちらでしょうか。

また、私たち用に腕章は用意していただけますか。

(事務局)

入場整理券は、委員さんたちでもぎっていただいて、半券をお渡ししてください。

委員の皆様には、当日、スタッフと書かれた名札を用意する予定です。

(委員)

名札だと正面からしか見えないので、腕章の方が見やすいと思います。手を挙げたときに見えるようなものだと良いと思いますが、用意していただけますか。

今回の入場整理券のハケ具合を見ると混雑することが予想され、今までの映画会とは違う状況になると思います。

(事務局)

メッシュタイプのオレンジ色のベストなら準備できます。背中にスタッフと書かれた用紙を入れることができます。

(会長)

アンケートの二次元コードを見て、入口ですぐ質問する人がいると思うので、職員で対応していただけないか。

(事務局)

職員は駐車場対応で人数が必要なので、できれば委員のどなたかにお願いできると有難いです。

(会長)

委員のみなさんも一度やってみて説明できるように準備をお願いできればと思います。

(委員)

LINE アンケートはいつから入力できるようになりますか。

(事務局)

当日から入力できるようにします。

(委員)

出入口は両方開けますか。

(事務局)

開場時は、町民会館の通常の出入口のみにします。ホールの目の前にある出入口は退場時のみ開けます。

(委員)

開場前に並ぶ人たちの誘導も必要ですね。

(事務局)

ホワイエにかなり並ばれると思うので、必要になると思います。
順番に並んでいただけるように列を準備します。

(会長)

ご質問がないようですので、当日の役割を決めたいと思います。

役割分担

(委員)

二次元コードの説明は時間を要すると思うので、受付ではなく、客席誘導に入ってもらった方が混雑しないようにと思いますがどうでしょうか。

(事務局)

客席に着いてからアンケート用紙を見ると思うので、ホール内で待機していただいた方がいいかなと思います。

(会長)

説明係は1名しかいないので、客席誘導の人たちも協力してあげてください。

(委員)

「LINE アンケートがわからない人は声をかけてください」とこちらから声をかけた方がいいですか。

(事務局)

LINE アンケートができないという人には、紙媒体の方で回答していただければいいと思います。やってみたいという人にはご説明をお願いしたいと思います。

(委員)

二次元コードを読み取る専用のアプリが必要ではないですか。

(事務局)

スマホのカメラで読み取れますが、LINE アプリがそもそも入っていない人は、アプリのダウンロードからになるので、その場合は紙媒体で回答していただいた方がいいかと思います。

(会長)

議題(1)について、承認いただける方は挙手をお願いいたします。

全員挙手

(会長)

全員挙手いただきましたので、議題(1)については、事務局の提案どおりとします。

次に、議題の(2)「文化産業まつり『男女共同参画推進コーナー』の設置について」事務局から説明をお願いします。

事務局説明

(委員)

缶バッジの柄は決まっていますか。

(事務局)

これから考えます。いいデザインで利用できるものがあったら、対応したいと思っています。

(委員)

トッピーはよく見かけるので、それ以外で可愛いキャラクターがあると思います。

(会長)

何種類かデザインを用意しておいて選んでもらうということですね。

(事務局)

男女共同参画の言葉を入れたものにするか、男女共同参画をイメージできるようなイラストにするか、いずれにしても何種類か用意して、好きなものを選んでいただくようにしたいと思います。

(委員)

ペンを置いておいて好きなように書いてもらうことはできますか。

(事務局)

例年と会場が異なりますので、どれくらい来てもらえるかの見込みが立てづらいです。

ただ、缶バッジが少し大きめなので、余白に名前を書いてもらってもいいかなと考えています。そのあたりもご意見をいただきたいです。

(委員)

缶バッジづくりは、どれくらい時間がかかりますか。

(事務局)

台紙があればそれほど時間はかかりません。

(委員)

会場は、自販機があって、パネルの後ろは曲面の窓ガラスが並んでいるところでしょうか。

(事務局)

そのあたりだと認識しています。

(委員)

缶バッジは 100 個で足りそうですでしょうか。

駐車場の飲食ブースが近く、2 階の福祉ブースでは子ども向けのゲームやわたがし、ポップコーンなどのブースが出ますので、足りるのかなと思います。

(委員)

機械が一台ですし、100 個限定でいいのではないのでしょうか。

(委員)

100 個だと午前中で終わってしまうのではないのでしょうか。

(委員)

おそらく午前中は少なく、午後、ステージで踊った子どもたちが流れてくると思います。その子たちが作るときは少し大変かもしれません。

(委員)

午前中で 100 個限定にした方が楽かもしれません。

(会長)

1 日で 50 個でもいいと思います。

(委員)

できれば機械を増やして、200～300 個まで対応してほしいです。ステージに出演した子どもたちがいっぱい来てくれると思いますし、せっかくいい場所なので、できるだけ多くお願いしたいです。

(事務局)

機械は1台しか借りられません。

(会長)

例年は午後からを想定していませんでしたが、この場所になると午後3時まででしっかりやらないといけないなと思っています。

あと、缶バッジの機械は子どもたちに危なくないですか。子どもに機械を使ってもらうのか、こちらがやるのかどちらでしょうか。

(委員)

危なくはないですが、力がいらいます。サイズが大きいのでさらに力がいると思います。子どもではきちんと留められないと思います。

(会長)

私たちがやるということですね。

(委員)

100個限定は仕方ないと思いますが、それ以降は子どもを受け付けないというわけではないですよ。あげるものがないけどアンケートだけやってとなると、子どもたちが不憫のように思います。

(事務局)

塗り絵くらいなら用意できるかもしれません。

(委員)

何かお土産があるといいと思います。

(事務局)

用意できる啓発品は、子どもは好まないものばかりだと思います。

アンケートは大人を想定しています。

なので、缶バッジの数を増やすか、午前50個・午後50個で分けるかで対応できればと思います。

(委員)

缶バッジの材料はいくつくらい用意できますか。

(事務局)

まだ見積もりを取っていませんが、100～150 個くらいは用意できると思います。

(委員)

缶バッジがなくなっても、子どもたちは来てくれると思います。

(委員)

他の子がつくった缶バッジを見ると来てくれると思います。

(会長)

缶バッジは、子どもにとって本当に嬉しいのでしょうか。

(委員)

子どもの頃から男女共同参画を浸透していくことが未来のためにいいと思います。

(会長)

子どもたちには男女共同参画を言わなくても、男女平等になっています。それより高齢者向けに意識啓発が必要だと考えて活動をしてきました。

(事務局)

子どもたちに渡せるものを考えてみます。缶バッジ以外のものになるかもしれません。

(会長)

今回こんなにいい場所になったので戸惑っています。

(委員)

風船アートならできるのではないのでしょうか。

(委員)

納涼まつりの屋台が並んでいるところはとても混雑していたので、あの人数だと 100 個は一瞬で終わってしまうかもしれません。

コロナ禍の反動で人が多く出ているのかもしれません。

(委員)

啓発品のストラップやマグネットは、少し大きい子どもに渡してもいいです

か。

(事務局)

構いません。

(委員)

子どもたちはいつぺんに来ると思います。

カードやシール1枚でももらいたいと思っています。

(事務局)

缶バッジの在庫を確認したところ、200個用意できますので、準備だけはさせていただきます。

(委員)

缶バッジの機械の係は疲れるので、交代してやった方がいいと思います。

(会長)

機械が故障した場合は、中止ですね。

なるべく材料にロスが出ないように、練習した方が良さそうですね。

缶バッジは200個、啓発品はあるだけということで実施したいと思います。

(委員)

「男女共同参画テーマ別 関心度調査」というタイトルは、テーマ別というほど分かれていないように思いますので、少し表現を変えるといいかなと思います。

例えば、「気になるキーワード」「関連キーワード」など、あまり長くない程度で、「テーマ別」とは違う表現にした方が良いでしょうと思います。

パネルで性暴力の内容を展示しているので、選択肢に性暴力を追加するか、その他で付箋を使って書いてもらう場所があるといいかなと思います。

SOGIは、聞かれたら説明しないとイケない状況になるかなと思います。

(委員)

概要版を用意するなど、用語の説明は何か読めばわかるようにしてありますか。

(事務局)

模造紙に書いたテーマの下か横に、簡単な用語説明を入れる予定です。

「その他」も用意し、それを選ばれた方には、具体的にどういった内容か、もしくは関心がないのか等を書いていただければ、ニーズが把握できるかなと思います。

(会長)

「その他」用に付箋を用意した方がいいと思います。

(委員)

「その他」を選んだ人は、その場で書いてもらうのでしょうか。

(事務局)

アンケート用紙を配付する際、バインダーに挟んでお渡しするので、それを使えば書けるのではないかと考えています。

(会長)

アンケートに答える前にシールを貼って、アンケートをお願いしますという流れになりますか。

(事務局)

そのような流れを考えています。

「その他」の人は、大き目の付箋を用意しますのでそこに書いていただき、「その他」のテーマのB紙に貼ってもらおうと思います。

(会長)

SOGI はいりますか。

(事務局)

昨年度のアンケート調査では、SOGI の認知度が低かったということもあり、あえて追加した意図もあります。無くしても構いません。

(委員)

「女性活躍」は、「女性活躍社会」の方が用語としていいのかもしれませんが。

(会長)

この中では浮いているように思います。

(委員)

「女性活躍」は女性活躍する場がないということなのか、活躍する場を吸い上げていないのか、そのあたりのニュアンスが人によって取り方が違うので、選択肢として難しいように思います。

(委員)

私の世代には、一番わかりやすい用語だと思います。保守的に生きてきた人たちには受け入れやすい言葉だと思います。

(会長)

女性が活躍する場がないからなのか、女性が今頑張って活躍しているということなのか、ニュアンスが人によって変わってくるように思います。

(委員)

両方の意味を含めて考えていると思います。

(会長)

一般的には一番わかりやすい言葉かもしれません。

例えば、ジェンダー平等と男女平等の違いは何なのか、わかりにくいものもあると思います。

(委員)

大臣のうち女性が何人なのか、そのあたりは関係ないと思っている人が多いかもしれません。

逆に「女性活躍」を入れてしまうことでそちらに流れてしまい、求めている結果にならないかなとも思います。

(委員)

前回の審議会では、子ども向けのクイズに答えた子に啓発品を配るという話になっていたかと思いますが、缶バッジは作りたい子は全員に作ってもらうということでいいですか。

また、アンケートやパネルの内容は大人向けだと思うので、子どもたちは缶バッジを作りに来るということでよいでしょうか。

(事務局)

展示するパネルの内容は、全部漢字で低学年の子には難しいかなと思うので、まずは「男女共同参画」という言葉を知ってもらうという意味で、缶バッジづくりに参加してもらえればと考えています。

(委員)

親子で来た場合、親はアンケートに答えて、子どもは缶バッジを作ってもらおうということでいいですか。

(事務局)

親と離れても大丈夫な子は缶バッジづくりをして、離れるのが難しい子は一緒につくることもあると思います。

(委員)

缶バッジを作っていい対象年齢はありますか。

(事務局)

機械の対象年齢は確認していませんが、機械は大人が扱い、子どもはデザインを選ぶだけなので、特に対象年齢は設けずにいきたいと思います。

(委員)

中学生や高校生が作ってもいいですか。

(事務局)

アンケートか缶バッジかは、子どもの希望に合わせてでいいと思っていますが、御意見があればお願いします。

(委員)

中学生でも高校生でも、興味がある子は作りたいんじゃないかと思います。

(委員)

中学生や高校生にも、アンケートで意見を聞きたいです。高齢者と若年層の意識の違いを知りたいです。

(委員)

私は、子ども＝小学生までという固定観念がありました。缶バッジを作れた子と作れない子がいるといけないと思い、委員の間で対応を統一した方がいいと思い質問しました。

(事務局)

大人には遠慮いただきたいですが、高校生で作りたいという子には作っても

られればと思っています。

(会長)

高校生か大人かをどのように見分けるんですか。

(事務局)

1人ずつ年齢確認するのは現実的ではないと思います。

少し大きい子には、その場でアンケートをお願いする流れになるかなと思います。

ただ、缶バッジの作業用として長机を2本用意しますが、混雑状況によっては、アンケートをお願いする余裕がない場合もあります。

逆に落ち着いていて、アンケートをお願いできる場合もあるかと思います。

臨機応変に、答えてくれそうな中高生にはアンケートをお願いしつつ、缶バッジは作りたい子に作ってもらうという整理はいかがでしょうか。

(会長)

映画会とは規模が違い、臨機応変にというわけにはいかないと思います。

(委員)

アンケートは、年齢別で集計するのでしょうか。

(事務局)

臨機応変は難しいということなら、中高生にはアンケートを取らずに缶バッジを作ってもらうということにし、アンケート用紙から「10歳未満」「10代」を削除します。

(会長)

小学6年生以下はアンケート関係なく、缶バッジを作る、中高生にはアンケートに答えてもらうということにしましょうか。

(委員)

高校の制服が変わってきているので、中高生には、男女共同参画の意識やどこまで理解しているのかを聞きたいです。傾向として、どこまで周知が進んでいるのかを掴めたらいいなと思います。

(事務局)

事務局としても若い子たちの意識を把握したいですが、お手伝いいただける

委員さんも職員も人数に限られる中で、どこまで対応できるかだと思います。

中高生の子にアンケートをお願いするとなると、制服で来てくれるわけではないので、それぞれに学年を聞くことになると思います。

臨機応変が難しいということなら、子どもたちにはアンケートを取らないと決めるか、逆に全員にアンケートを取るというかたちにするのか、線引きをしておかないと委員さんたちのご負担が増えると思います。

ただ、受付で学年を確認することはできるので、そこで仕分けることができるなら対応できると思います。

(会長)

受付で整理券を渡すのですか。

(事務局)

缶バッジの整理券ですか。

(会長)

アンケートに答える人たちとごちゃごちゃになると思うので、受付で缶バッジ券を渡して、缶バッジの方に並んでもらうという流れが良いのではないのでしょうか。

(事務局)

整理券までは必要ないと考えています。対応できる範囲で対応したいと思います。

(会長)

受付で学年を聞くというのは、どういうことですか。

(事務局)

見分けがつかない子には学年を確認して、その結果、中学生以上ならアンケートをお願いして、小学生なら缶バッジをやるか意思確認をすればいいかなと思います。

(会長)

缶バッジをつくる子たちは、受付なしということですか。

(事務局)

学年の確認は必要かと思います。

(委員)

男女共同参画の取組を知ってもらうことが目的なら、アンケートは全員に配付すればいいのではないのでしょうか。学年を確認しなくても全員に渡して、回答しない人は、それはそれでいいのかなと思います。

(会長)

缶バッジのところで集まっている子どもたちにアンケートを渡して、答えるかどうかは自由にするのはどうでしょうか。

(委員)

受付に来た人にアンケートを渡して、アンケートに答えながら缶バッジを作る子もいるだろうし、返してくる可能性もあるし、とりあえず受け取ってもらったらいいいのではと思います。

この人には渡してこの人には渡さないというのは難しいので、全員に渡すのがいいのかなと思います。

(会長)

アンケート用紙は多く用意しておいて、回収を目標 200 枚とするのはいかがでしょうか。

(委員)

以前、参加させていただいた際、知っている子どもたちがたくさんいたのでアンケートを渡してパネルの説明をしました。小さい子でも話を聞いてくれて、真面目に書いてくれました。バラバラに来て、教えてほしいと言って聞いてくれました。

関心を持ってもらうという啓発のためなら、いちいち年齢やアンケートを答えてくれるかどうかの確認をしなくても、説明をしてあげたら内容がわかると思います。啓発が目的ならそれでいいのではないかと思います。

小学生でも十分話し合いで解決できると思います。大人が線引きせず、小さいときから興味を持ってもらう、知識を増やすという意味で、皆さんに配り活用してもらった方がいいのではないかと思います。

(会長)

線引きというよりは、決めておかないと委員によって対応がバラバラになってしまうといけけないので、基準を決めておきたいと思っています。

(事務局)

アンケートにルビをつけ、子どもも含めて皆さんに配っていただいて、答えられる子は答えてもらい、難しくてわからないという子はそのまま出してもらおうという案内をお願いしたいと思います。

缶バッジは、希望者全員につくっていただくということで宜しいでしょうか。

(委員)

缶バッジはおそらく希望者がたくさん出ると思うので、並んでもらって、机のところは一定数にするということによろしいでしょうか。

机の周りに群がってしまうと大変なので、整理係が1人は必要かなと思います。

(委員)

アンケートの最後に性別を答える欄がありますが、※で記載されている「自認する性でお答えください」は、あえて書いておかなくても良いのではないかと思います。

(事務局)

映画会のアンケートからも削除したいと思います。

(委員)

ヤングケアラーのことも触れていただけるといいかと思います。

(事務局)

ヤングケアラーは、男女共同参画とは少し違う分野になってしまうかと思います。

(委員)

福祉ブースで触れるのではないのでしょうか。

(会長)

それでは、当日出席できる方を確認したいと思います。

出欠確認

(事務局)

缶バッジは200個、シールは300枚の準備でよろしいでしょうか。

(会長)

シールは 200 枚で良いのではないのでしょうか。

(委員)

缶バッジをつくる子にもアンケートを配るなら、シールは 400 枚必要ではないのでしょうか。

(会長)

議題(2)について、現時点の内容で承認いただける方は挙手をお願いいたします。

委員挙手

(委員)

集合は 9 時でよろしいですか。

(事務局)

当日お手伝いいただける委員の皆様には、後日、お手紙でお知らせいたします。

(会長)

続いて、議題(3)の「東郷町男女共同参画情報誌『イーストピア』第 13 号の発行について」事務局から説明をお願いします。

事務局説明

(委員)

案 1～3 がございますが、「性自認」という表現については、愛知県が昨年 4 月に人権尊重の社会づくり条例を制定し、そこでは「性自認」という言葉が使われていますが、国の LGBT 理解増進法では、「性自認」という言葉は避けて「ジェンダーアイデンティティ」という言葉を使っています。

やはり「性自認」という表現は、まだその言葉を当たり前の表現として発信していくにはステップが必要かと思い、イーストピアで取り扱うことはせず、より身近な困りごとを取り上げるのがいいかなと思いました。

愛知県も条例をつくる際、パブリックコメントを集めていますが、「性自認」という表現に意見が集まっていたので、丁寧に説明していく機会があった方がいいかと思います。

(委員)

案１～３について、このスペースに入れるということでしょうか。

案２も３も、しっかり読みたいと思ったので、もう少しスペースがあった方がいいのではないかと思います。

(会長)

このスペースだけの話なのか、案２や案３を中心にして紙面を構成するのかどちらでしょうか。

(事務局)

まずは、案１～３の中でどれかをお選びいただき、他の項目とバランスを考えてレイアウトの変更は出てくると考えています。

他の項目についても御意見がございましたら、お願いいたします。

項目をしぼって、案２、３のスペースを増やす方法も考えられます。

(委員)

例えば、今回は案２になったら、案３は次回に掲載することになりますか。

(会長)

今回は１年後になってしまいますね。

(事務局)

次回の特集は改めて皆様にお諮りするのですが、これまでは、男女共同参画の中で、「SDGs から考えるジェンダー平等」について取り上げてみたり、女性活躍を進めている企業の女性を紹介したり、テーマを分けて記載しています。

例年の傾向から申し上げますと、今年度、性教育、性の多様性について触れるとなると、来年度は、テーマを変えて特集を組むことを考えていました。

ただ、確定ではないので、来年度は、この部分をクローズアップして特集を組むということも可能です。

(会長)

取っ掛かりがわかりやすい内容だと、読み進んでもらえそうな感じがします。

(委員)

どちらもいいと思います。

男女共同参画の情報誌で性教育を扱うとなると、今、求められている、知らせ

たい方はどちらなのかなと悩んでいます。

LGBTQ という言葉が随分浸透しているのであれば、性教育の方に重点を置いてもいいかなと思いました。

性教育というと少しチャレンジするような感じがしますが、取り上げてもいいのかなと思います。

(委員)

「性教育について考える」の項目にある「後進国」のデータが欲しいです。

案2と「家庭でできる性教育」の項目とをつないで、問題提示はできませんか。1つに絞らないとだめでしょうか。

未成年の子がわからないまま妊娠してしまい悲劇になるという話が増えているので、もう少ししっかり子どもとどのように接していくといいのか、家庭でできないのならば、別の機会に教育や知識を与えられるべきだと思います。

簡単に男性と知り合えるツールがあるので、そのあたりが問題だと思っていますが、どうしていったいいかわかりません。

日本は、性教育について遅れていると思うので、大切な時期を迎えている子どもたちに知識を与えてあげてほしいと思います。

できれば、案2・3を関連してページを作成していただけると有難いです。

(委員)

どれも必要な項目だと思うので絞るのが難しいと思います。

日本は性教育が遅れているので、今更追いつく話ではないと思います。

(委員)

この情報量を紙面に詰め込むのは難しいかもしれません。

事務局からは、深い知識をとというよりは門戸を広めたいという目的があると聞きました。

今は、様々なサイトで勉強ができますし、参考文献のところでLGBTQの分野の書籍等を紹介できればいいのかなと思いました。

(会長)

紙面のスペースを工夫しつつ、学識経験者の先生方と相談しながら作成してください。

それでは、議題(3)について、現時点の内容で承認いただける方は挙手をお願いいたします。

委員挙手

全員挙手でしたので、議題(3)については、事務局の提案どおりとします。
次に、議題の(4)「その他」について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

特にありません。

(会長)

これで、本日すべての議題が終了したので、進行を事務局にお返しします。

(事務局)

中林会長、議事の進行ありがとうございました。

また、委員の皆様には、ご熱心な議論とスムーズな議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

次に、次第3その他について、事務局からご連絡いたします。

| | |------------------| | 3 その他について事務局から連絡 | |------------------|

(事務局)

次の開催日時についてですが、令和6年2月下旬頃に開催する予定です。開催日が決まりましたら、お手紙でお知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。

最後に、全体を通して何かご質問はございますか。

ないようですので、以上で、令和5年度第3回東郷町男女共同参画審議会を終了します。ありがとうございました。

以上